

3. 疾病予防の啓発

A. 健康セミナー・健康講座の開催

生活習慣病その他重要な疾病の予防・診断・治療に関する啓蒙、啓発および普及を図るため、健康セミナー・健康講座ならびに広報活動を以下のとおり実施した。

【1】第51回 健康セミナー

開催日時：令和7年11月25日（火）

場 所：京王プラザホテル「錦」

主 催：公益財団法人 三越厚生事業団

講演内容：演題『iPS細胞を用いた心筋再生医療の現状と展望

：重症心不全治療は新たな時代を迎えるのか？』

講 師：福田恵一 医師（慶應義塾大学名誉教授、Heartseed株式会社代表取締役社長）

参加人数：90名

<講演内容>

我々はヒトiPS細胞を用いて再生心室筋細胞を作製し、さらに純度99%以上に純化精製し、最終的に直径150μ程度の細胞凝集塊（心筋球®）を形成する方法を開発した。臨床治験（LAPIS試験）では、心筋梗塞に伴う重症慢性心不全患者に対し冠動脈バイパス手術時に、特殊に開発した移植針を用いてこの心筋球®を左心室の壁に合計45か所移植した。本治験は世界初の本格的な心筋再生医療の治験であり、多施設共同非盲検オープンラベル試験として、低用量5例（5000万個）、高用量5例（1億5千万個）に投与を行った。治験症例はいずれも最重症例ばかりであったが、重篤な副作用は観察されず、手術後の心機能は顕著に改善した。治験はまだ一部の症例で観察期間が残されており、最終結果は来年には報告予定である。この講演では本治療法の開発の経緯、技術の内容、治験の現段階での成績を紹介し、今後の重症心不全治療の方向性を解説する。

【2】第52回 健康セミナー

開催日時：令和8年2月9日（月）

場 所：三越劇場

主 催：公益財団法人 三越厚生事業団

講演内容：演題『疲労医学が解明した「ぐっすり快眠」のテクニック』

講 師：梶本修身 医師（東京疲労・睡眠クリニック院長）

参加人数：300名

<講演内容>

睡眠の最大の目的は、前日までの疲労を回復させること。起床時にだるさを感じるでは睡眠本来の目的を果たしたと言えない。十分な時間眠っても疲れが取れない原因は、睡眠の質が悪いから。睡眠の質の悪化には必ず理由がある。疲労医学が解明した「Good Sleep（ぐっすり快眠）」のテクニックを解説する。

【2】第49回 健康講座

開催日時：令和7年9月5日（金）

場 所：エステック情報ビル21階 会議室B

主 催：公益財団法人 三越厚生事業団

講演内容：演題『健康診断結果を読み解く!』

講 師：中村淳医師（三越診療所副所長）

参加人数：54名

<講演内容>

皆さんこんにちは。皆さんは様々なタイミングでいわゆる健診や検診、人間ドックを受けておられると思います。しかしながらその結果を一瞥したらそのままになってしまう事も多いかと思います。また、特に消化器内科分野の結果を見て、どう理解したらよいのか困ってしまう事もあるでしょう。

私はこれまで大学病院で消化器内科の診療を中心として関わってきました。そこで今回は消化器内科医として視点から健診の結果票をどう読み解き、今後に役立てていくかについて少しお話をしたいと思います。

便潜血陽性なら必ず大腸内視鏡をやらなきゃいけないの？胃のポリープは放っておいていいの？そもそもポリープって何？ピロリ菌の除菌はどんなひとがするの？エコーで膵臓に嚢胞があるって言われたけど様子見ていいよね？肝機能が悪いのはお酒のせいだけ？などなどの疑問にお答えしたいと思います。

貴重な時間とお金をかけて受ける健診結果、少しでもより深く理解し、活用していきたいですね。皆さんのお役に立てれば幸いです。お待ちしております!!

B. 生活習慣病健診報告会健康管理者セミナー

このセミナーでは契約先の担当者を集め、毎年実施しているアンケート結果に基づき、関心の高い講演テーマを取り上げて行ってきましたが本年度は中止とし、次年度に向けた開催方法、テーマ等について検討した。

C. 広報活動

令和7年度は、「事業年報の作成」「ホームページによる情報発信」の広報活動を行った。

1. 事業年報の作成・ホームページ掲載

令和6年度（令和6年4月～令和7年3月）に実施した集団健診、診療等統計調査と観察結果などをホームページに掲載した。

2. 三越厚生事業団ホームページによる情報発信

公益財団法人としての経営情報の開示、公益活動の紹介等を行った。また、診療・健診情報をリアルタイムに更新した。